市内還暦野球チームが快挙

全日本選抜還暦軟式野球大会に初出場



試合に挑んでほしい」とエー 日々の努力を発揮できるようにしたい」と意気込み りましょう』を合言葉に活動している。大会では、 田三也主将(4・下荻野)は「『楽しく野球を 山口市長は「純情・純粋の気持ちを忘れず、 全国大会の出場が決定しました。 団旗を手に持つ選手ら (左が上田主将) ルを送りました。

歳以上の26人で週に1 設立。市内唯一の還暦 48チームが熱戦を繰り 回程度活動していま 野球チームとして、59 から山口県で開かれ、 す。大会は、10月21日 チームは、5年前に

コンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくり

全国初の公道走行実験をスタート

動でき、地域で暮らし、 働き続けられるまちづ を始めました。走行実 みの一環です。 くりを目指した取り組 験は、誰もが快適に移 ター」の公道走行実験 モビリティスクー

う。森の里地区は高齢化率が 定に感じたけれど慣れると思 さん(77・森の里)は「スピード んでいます。実験初日の試乗会で操作した小松栄次 最高時速15世程度で進み、 は、高齢者などの移動手段の一つとして普及が進 スクーターは、一人乗りで長さ137秒・幅6秒、 動力源は電気です。 が速いと少し不安

高く坂道も多いので、

ちょっ



して期待される乗り物 -ターに試乗する住民

ガの生態を博物館で見て学ぶ

特別展「知らなかった蛾の魅力」を開催中

発見できる特別展を、

種の標本を展示。幻と る種を含め、約300 横手・糸満市に分布す ガや友好都市の網走・ いわれる「カバシタム ます。市内に生息する 土博物館で開催してい 12月3日まであつぎ郷

確認されています。 クゲエダシャク」の標 %を占めています。日中に飛ぶもの、 本も見られます。 ガは市内に約1400種が生息し、 芸員が展示の解説をする「ちょっといい小特別展では、学びが深められるよう、学

など限られた環境で生息するものなど多様な種 河川敷や高 動植物の約



展示されている標本

自然の中で芸術に親しむ

ぼうさいの丘公園で「あつぎ青空アート展」を開催

も初めて出店しました。

キッチンカ

八内嶋朋子さん(38・妻。親子で楽しんでいた

は「毎年楽しみにし

を展示しているので家 子どもが制作した作品 ているイベントの一つ。



カラフルなアート作品が並ぶ

今年は来場者がより楽しめるよう、 作りに挑戦できるワークショップも開催。 を楽しませました。 園内には石彫をはじめ、 の自然を生かした作品が展示された他、 作った作品41点が展示され、来場者の目 には、プロの造形作家や保育園児などが ぼうさいの丘公園で開かれました。会場 作品鑑賞やものづくり体験が楽しめ 布・木などの素材や公 ト展」が10月、 さらに、

県還暦軟式野球大会一部リー

が、全国大会出場を市長に報

ム「アツギJJクラブ」

カーボンニュートラル(CN)とは、地球温暖化の原因である 温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量 を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今 日から挑戦できる取り組みを紹介します。

今月の挑戦 地産地消を楽しもう!



毎週日曜に文化会館で開かれる 厚木市民朝市

地産地消とは、地元で生産された野 菜などを地域内で消費することです。 鮮度の高い農産物が手に入り、地元 農業の応援につながる他、農産物の 運搬が最小限で済むため、海外から の輸入などに比べて排出されるCO2 が少なくなります。

厚木市民朝市や農産物直売所で地 元の新鮮な農畜産物を購入し、地産 地消を楽しみませんか。

CNプラットフォームでは、地産地消をより 詳しく知れるページを公開しています。



んでまいります。

圖環境政策課☎225-2749

訣を尋ねると「よく笑い、よく話 逆に私が力を頂きました。長寿の 住む95歳以上の方、 も一気にほぐれました。 顔で迎え入れてくださり、 感謝の気持ちを伝えに行きまし しました。玄関をくぐると皆さん し、よく食べること」と教えてい 9月の敬老の日に合わせ、

だき、 たき、それ以来、私も改めて幅広いいき、それ以来、私も改めて幅広いたい、「元気で頑張って」と励まされ、近に私が力を頂きました。長寿の秘密謝の気持ちを伝えに行きました感謝の気持ちを伝えに行きました。

ら大人まで楽しめる展示となっています。 たな発見やガの魅力を感じられ、子どもか 話会」や野外観察で使える図録を販売。新

> 26人の元を訪 私の緊

張笑問に

厚木市長 山口貴裕

今年100歳を迎える方の自宅を訪問

同様の状況です。 年々進んでいて、

9月末

ます。日本の

方と話す時

以上の方が8人いらっ現在、市内には100歳

くりに、多くの皆様と協力して取 めには、「地域包括ケア社会」の実い暮らしを人生の最期まで続けるた きがいを感じられる生活を送っても 現が不可欠です。厚木に誇りを持っ らえるよう、12月にはかなちゃん手 誰もが住み慣れた地域で自分らし 購入費助成などを増額します。 心豊かに暮らせるまちづ や若者たちにも刺激を与 発で明るい姿は、子ども しゃいます。高齢者の活 まちの活気につなが 友人との交流や生